



## 新潟県の「山」標高ランキング

新潟県で一番高い山はどこでしょう？「妙高山」...それとも湯沢町の三国峠方面の山... 実は意外と知られていない山なのです。

第一位は北アルプスの「小蓮華(これんげ)山」(標高2766m)。

糸魚川市街地から車で1時間程度の、「蓮華温泉」から登山ルートがあり、4時間程度で登頂が可能。ベストシーズンは夏から秋の短い期間ですが、多彩な高山植物や雷鳥などと出会うことができます。

ちなみに2位以下は「雪倉岳」「乗鞍岳」「火打山」と糸魚川市の山が続き、妙高山(2454m)が5位。大日岳(阿賀町/飯豊連峰)が8位。仙ノ倉山(湯沢町/谷川連峰)は10位です。どれも、ロープウェイなどの「楽できる乗り物」はありませんから、経験を積んでからチャレンジしましょうね！



「Eco列車でいこう！」～第171回～ おさるの温泉。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



11月25日(土)。北陸、関越道で小千谷まで。そのあとは国道117号線で長野県を目指す。信越県境ではまとまった雪となった。わずかに残る紅葉と新雪のコントラストがキレイだ。

飯山経由で山ノ内町の上林温泉に到着した。駐車場にクルマを停めて、徒歩で「地獄谷野猿公苑」を目指す。言わずと知れた「温泉猿」の名所で、「Snow Monkey Park」として海外にも発信されている。

立派な旅館が多い。大きなアップルパイをウリにしたおしゃれなカフェがあり、外国人客がくつろいでいる。温泉街が尽きると、野猿公苑までの散策路となる。片道25分ほどの山道だがスニーカーでも大丈夫だ。マイナスイオンを浴びながら杉林を歩くと野猿公苑の入り口。入場料は800円(小学生～高校生は400円)。「飲食物の持ち込み禁止」「1m以内に近づくな」などの注意を受ける。

猿は温泉周辺だけでなく、道端にも、山にも、川にも、いっぱいいる。「日光」のように狂暴な猿はいない。小競り合いはあるものの、みな穏やかだ。「1m以内に近づくな」と注意を受けたが、猿の方から寄ってきたりもする。中心にある有名な露天風呂に行ってみる。意外と入浴中の猿は少なかった。気温は2度、小雪が舞っているが、まだまだ寒さが足りないのかもしれない。

それでも、猿の入浴シーンや、子猿の写真を撮るのに夢中で、ずいぶん長い間公苑内で過ごした。とても楽しかったが、すっかりカラダが冷えた。

これからの季節、公苑へ向かう散策路の足元は悪くなるが、少し頑張れば歩けば愛らしい猿をたくさん見ることができるだろう。冬がベストシーズンなのは間違いない。おすすめの観光地だ。



上林温泉から野猿公苑までは1.8km



お猿の露天風呂を囲む観光客



子猿はかわいかった